

令和7年度 障害者支援施設紀南ひかり園 地域連携推進会議録

【日時】 令和7年10月8日（水） 13時30分から14時35分

【出席者】 園長、地域代表、利用者代表、保護者代表、事務長

【内容】

1. 開会挨拶

*地域連携推進会議の背景・目的について下記のとおり説明

⇒近年、障害福祉サービスを提供する事業者が増えてきており、支援の質の確保が重要な課題となっています。
入所施設やグループホーム等の居住や生活の場のサービスは、閉鎖的な運営になる恐れがある点が問題視されていました。地域連携推進会議を実施することによって、地域の関係者を含む外部の目が定期的に入り、事業所の運営の透明性が高まり、地域との繋がりができ、利用者がその人らしい生活を送るための支援に繋がっていくことから、この仕組みが導入されました。
この会議の目的とするところは、施設・事業所と地域が連携することにより、①利用者と地域との関係づくり、②地域の人への施設・事業所や利用者に関する理解の促進、③サービスの透明性・質の確保、④利用者の権利擁護になります。

2. 自己紹介

*各委員から自己紹介をしていただく。

*その後、施設見学を行う。

3. 施設からの報告

*和田園長から、（１）施設の運営状況から（５）大規模修繕について説明を行う。
特に意見や質問はなかった。

（１）施設の運営状況

- ・施設入所支援…定員40名 現員38名（男性23名、女性15名）最少年齢19歳、最高年齢87歳
- ・生活介護事業…定員60名 現員50名（男性27名、女性23名）
- ・短期入所事業…定員4名
- ・日中一時支援事業

【職員数】

職 種	員数	常勤	非常勤
管理者 サービス管理責任者（兼務）	1	1	
生活支援員（常勤2名兼務）	31	17	14
医師（内科、精神科）	2		2
看護師	1	1	
栄養士	1	1	

事務員 (常勤2名生活支援員兼務)	4	3	1
用務員	4		4
合計(実人数)	42	21	21

(2) 利用者の日常生活の様子

- ・日課表参照
- ・午前中は、ゆとりグループ、すこやかグループ、なごみグループに分かれて、散歩、運動、園芸、軽作業、体操、壁画作り、リハビリ、館内清掃等を行っている
- ・午後は、レクリエーションと日中入浴を行っている。
- ・週1回は各グループで買い物等の外出を実施。
- ・年4回は、音楽、茶道、ドライブに分かれてクラブ活動を実施。
- ・年間行事としては4月花見、6月ビアガーデン、7月ゲーム、9月余暇の日(外食)、10月焼き芋大会、11月秋まつり、12月クリスマス会、2月音楽活動を実施。
- ・食事については、業者に給食を委託しているが、施設職員の栄養士が献立を立てており、利用者さんの誕生月には希望メニューと毎月のメニューには、利用者さんが主体的に行う自治会で検討した希望メニューを献立に取り入れている。また、それ以外にも食に対する楽しみを持って頂くため、施設負担で食事2回、おやつ2回、希望を確認し、提供している。

(3) BCP(業務継続計画)の策定状況

令和6年3月1日に自然災害発生時における業務継続計画、及び新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画を策定し、昨年度内容を職員に周知し、令和6年11月と令和7年1月に発生した場合を想定した対応訓練(シミュレーション)を行い、改善事項について協議し、見直しを行った。

自然災害発生時における対応訓練においては、非常食の炊き出しや発電機の作動確認、避難場所の2階ホールへの寝具、ポータブルトイレの準備等を行った。

感染症発生時における対応訓練については、2階ホールにて隔離部屋を設定し、感染症対策備品の準備や防護具着脱訓練を行った。

(4) 虐待、事故、ヒヤリハットの報告

- ・「虐待防止チェックリスト 結果・改善点(施設・事業所用)及び(職員用)」の結果報告を行う。
- ・「令和6年度ひやり・はっと事例報告・事故報告について」報告を行う。

(5) 大規模修繕

昭和58年8月に施設を開設したが、地盤沈下が酷く、平成10年に大規模な地盤沈下改修工事を行った。その後27年経過した現在、地盤沈下がかなり酷く、通路等がでこぼこになっており、利用者さんの園内散歩や移動に躓き等のリスクがあり、安全を確保していくことから、今年度再度大規模な地盤沈下改修工事を実施する。

4. 地域連携推進委員からの助言や意見等

(1) 施設見学をした際の印象や気付いた点等

- ＊地域代表委員から、外周は地盤沈下で凸凹になっており、修繕をされるとのことであるが、建物はしっかりしていること、屋内もきれいに保たれていると意見。
- ＊高齢化している中で、お風呂も特浴で対応しており、居室も和室をフローリングに改修し、ベッドに変更しているなど、環境整備をいただいているので、安心したと意見。

(2) 施設の運営等について

- ＊利用者代表委員から、休日にゲームをしたいと意見。
- ＊園長から、職員の体制上、休日は職員数が少ない為、その職員数で対応ができるドライブとカラオケを行っているので、参加していただければと思う。平日は、午後レクリエーションでゲーム等を取り入れて、楽し

んでもらえるようにしていると説明。

(3) 地域の状況等について

＊特に意見なし。

(4) 地域のイベントや行事等について

＊園長から、施設としては芝園自治会が主催している年2回の海岸清掃作業に利用者2名から3名と職員1名が参加させてもらっている。また、紀南ひかり園の自治会で年2回利用者数名と職員1名が芝園周辺の歩道のごみ拾い等清掃活動を行っていると説明。

＊地域代表委員から、芝園自治会でレクリエーションとして遠足（瀬流荘）を計画している。ただし、毎年参加者が減っている状況である。

5. その他

＊地域代表委員から、高齢者の介護施設では異性介助も行っているが、紀南ひかり園はきちんと同性介助を行っている聞き、人材不足の中でよく対応されていると意見。

＊事務長から、紀南ひかり園は開設43年が経過し、この土地は地盤沈下が酷く、建物が倒壊すること考えられ、津波のことも含めて利用者の安全確保を第1に考えて、以前から高台への移転を検討してきたが、国庫補助金が見込めないこと、建築費が高騰していること、既存の土地は熊野市から無償譲渡されているが、移転になると土地の取得費も必要であり、財源的に厳しくなったことから、移転はしないことになった。その為、今年度は大規模な地盤沈下の改修工事や来年度には屋根や外壁の塗装工事を行うなど、整備をして、この地で引き続き事業を行っていくことになったと説明。

令和7年度 指定共同生活援助事業所紀南ひかり園（グループホーム）

地域連携推進会議録

【日時】 令和7年10月15日（水） 13時30分から14時50分

【出席者】 園長、サービス管理責任者、地域代表、利用者代表、保護者代表、事務長

【内容】

1. 開会挨拶

*地域連携推進会議の背景・目的について下記のとおり説明

⇒近年、障害福祉サービスを提供する事業者が増えてきており、支援の質の確保が重要な課題となっています。入所施設やグループホーム等の居住や生活の場のサービスは、閉鎖的な運営になる恐れがある点が問題視されていました。地域連携推進会議を実施することによって、地域の関係者を含む外部の目が定期的に入り、事業所の運営の透明性が高まり、地域との繋がりができ、利用者がその人らしい生活を送るための支援に繋がっていくことから、この仕組みが導入されました。

この会議の目的とするところは、施設・事業所と地域が連携することにより、①利用者と地域との関係づくり、②地域の人への施設・事業所や利用者に関する理解の促進、③サービスの透明性・質の確保、④利用者の権利擁護になります。

2. 自己紹介

*各委員から自己紹介をしていただく。

3. グループホーム見学

*友輪 ⇒ 若草 ⇒ ペガサス ⇒ ジュピターの順で見学を行い、サービス管理責任者がそれぞれの住居について説明を行う。

4. 事業所からの報告

*サービス管理責任者から、（１）事業所の運営状況、（２）利用者の日常生活の様子、（３）BCP（業務継続計画）の策定状況について、（４）虐待、事故、ヒヤリハットの報告について説明を行う。
事務長から、（５）大規模修繕について説明を行う。

（１）事業所の運営状況

【定員と現員】

住居	定員	現員	内訳
若草	5	5	男性1名、女性4名
友輪	6	4	男性4名
ジュピター	4	4	男性4名
ペガサス	4	4	女性4名

【職員数】

職種	員数	区分
管理者	1	常勤（兼務）
サービス管理責任者	1	常勤（生活支援員兼務）

生活支援員	7	常勤2名（内1名サービス管理責任者兼務） 非常勤5名（内4名紀南ひかり園生活支援員兼務）
世話人	6	非常勤6名
事務員	1	常勤1名（紀南ひかり園事務員兼務）

(2) 利用者の日常生活の様子

【利用者の日中活動の状況】

活動先	人数	内訳
グリーンプラザ（就労継続支援B型事業）	6	男性4名、女性2名
グリーンプラザ（生活介護）	4	男性2名、女性2名
紀南ひかり園（生活介護事業）	6	男性2名、女性4名
合同会社シーベジタブル（就労）	1	男性1名

*誕生月やクリスマス等季節の行事には、それぞれのホームで外食や外注などにより普段と違う雰囲気を味わっている。また、休日や長期休暇中の余暇支援（買物、ドライブ等）を月1回程度実施している。

今年度は10月に2班に分かれてレクリエーションを予定し、第1班は田辺市中辺路町の古道の里ちかつゆに出かけしてきた。第2班は多気町の五桂池ふるさと村に出かける予定である。

(3) BCP（業務継続計画）の策定状況

令和6年3月1日に自然災害発生時における業務継続計画、及び新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画を策定し、昨年度内容を職員に周知し、令和6年11月と令和7年1月に発生した場合を想定した対応訓練（シミュレーション）を行い、改善事項について協議し、見直しを行った。

自然災害発生時における対応訓練においては、非常食の炊き出しや発電機の作動確認、避難場所の2階ホールへの寝具、ポータブルトイレの準備等を行った。

感染症発生時における対応訓練については、2階ホールにて隔離部屋を設定し、感染症対策備品の準備や防護具着脱訓練を行った。

(4) 虐待、事故、ヒヤリハットの報告

- ・「虐待防止チェックリスト 結果・改善点（施設・事業所用）及び（職員用）」
- ・「令和6年度ひやり・はっと事例報告・事故報告について」

(5) 大規模修繕

地盤沈下が酷く、平成10年に大規模な地盤沈下改修工事を行ったが、27年経過した現在、地盤沈下はかなり酷く、通路等がでこぼこになっており、利用者さんの園内散歩や移動に躓き等のリスクがあり、安全を確保していくことから、今年度再度大規模な地盤沈下改修工事を実施している。また、グループホームの汚水配管は紀南ひかり園の浄化槽に接続しているが、配管の距離が長く、地盤沈下により配管が破損することがある為、グループホーム近辺に単独浄化槽を設置する工事を行うことで進めている。

5. 地域連携推進委員からの助言や意見等

(1) グループホーム見学をした際の印象や気付いた点等

*地域代表委員から、友輪の利用者は、地震・津波の際、芝園の避難タワーへ避難すると説明を受けたが、避難タワーの入口ドアには鍵がかかっている為、芝園自治会に友輪に鍵を所持することができないか話をしてみると意見。

*保護者代表委員から、紀南ひかり園はGH利用者も含めてどこに避難されるのかと質問があり、園長から、2階のホールまたは3階の屋上へ避難することになる。地震・津波の避難訓練を年に数回行っており、夜間の避難訓練も行っていると説明。

(2) 事業所の運営等について

*利用者代表委員から、在宅生活では7年間一人暮らしであった為、グループホームで生活することで安心している。今のところ特に要望はないと意見。

*保護者代表委員から、虐待防止チェックリストの意見にもあったが、職員配置にゆとりがあればよいと意見。
園長から、この地域は人材不足であり、職員募集をかけてもなかなか応募がない状況である。知り合いで誰かいれば教えていただきたいと説明。

(3) 地域の状況等について

(4) 地域のイベントや行事等について

*事務長から、施設としては芝園自治会が主催している年2回の海岸清掃作業に利用者2名から3名と職員1名が参加させてもらっている。また、紀南ひかり園の自治会で年2回利用者数名と職員1名が芝園周辺の歩道のごみ拾い等清掃活動を行っていると説明。

園長から、以前は、芝園自治会が主催していたグランドゴルフなどのレクリエーションにも参加していた説明。

*地域代表委員から、芝園自治会でレクリエーションとして遠足（瀬流荘）を計画している。1月には防災の研修会を計画しており、また案内がいくと思うので参加してもらえたと説明。

6. その他

*地域代表委員から、この地域に紀南ひかり園やグループホームがあるのでありがたいと意見。

*保護者代表委員から、この地域に障害特性を踏まえて対応してくれる施設があり、ありがたい。紀南ひかり園はドアや玄関に鍵がかかっておらず、開放的な施設であると感じたと意見。